

私が好きな言葉は感謝である。と言った
も、この感謝の心が自分に身に付いてくるわけ
ではない。どちらかと言えば、今の私の私
はこの感謝の気持ちに欠けていたのだから
かといえ言える。戦後の日本人一般に欠けて
いるのが感謝する心ではないだろうか。米軍が
日本を占領し、形だけの民主主義を押し付け
ていったものの、本当の民主主義の根が
(自分の責任を口にしたず)、自分の要求ばかり
を追求するようになり、人間は皆平等で
あり、他人が自分より物や金を持ち、これより
幸福であることに我慢がとらぬ狭量な心が
世の中を支配しているように思える。日本の
世界で最も成功した社会主義国家であると言
われ、このような日本人特有の偏
狭な心がある、これを成功したのだからかとい
思われる。高額所得者に対する課税が厳しい
のも、旧大蔵官僚の金持ちに対するひがみ根
性が強いのが主因と言われ、私自身を

振り返り、と云はれる。実に感謝の心に欠けてきた事に気がかえれる。生来、胃腸が虚弱で、性格が明るく、このを気にしていたが、これを補う、と余りあるほどのよい点を立すか、と生み出されてきたことに感謝していい。また、両親に反抗ばかりして育ち、と云はれたが、成人になろうと育つることの大変さに対する感謝の心に欠けていた。私には家族はいるが、妹の子育てを見てみると、そのところがよく理解できるところに存した。戦後になり、道徳の授業がなくなる、たり、宗教が重んじられなくなる、と云はれたが、感謝の心を失わせるのに拍車をかけたのであろう。欲望・^高痴・怒りの心は仏教で避けるべき3つの心の持ち方と言われ、この3つの心に至ることなく、少しでもお釈迦様の境地に近づくことができるのでいい。いいだろうか。